



園長便り



2021年6月30日発行

セブンスデー・アドベンチスト石川教会附属 石川三育保育園

梅雨が長引き雨の多い日が続いています。皆様いかがお過ごしでしょうか。

コロナウイルスの影響も、想像以上に大きく長く続いています。緊急事態宣言が延長し、縮小保育要請も延長しました。各ご家庭や子ども達にもご迷惑をおかけしており、不安や大変な思いを抱いているかもしれません。またしばらくの間辛抱が続きますが、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

先日、保育園ではプール開きを行いました。雨の合間の晴れた日には、クラスごとにプール遊びをし、子ども達は大喜びです。コロナの状況ではありますが、子ども達の笑顔と思いっきり遊ぶ姿を見ることができ、とても嬉しく思います。

さて、聖書には、「憐れみの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容、忍び合い、赦し合い」を身に着けることが大切です、と記されています（コロサイ3：12、13）。人間が生きていく上で、この7つの項目を身に着けることが大切であることは、誰もが思うことだと思います。子どもたちにも、この7つの項目を身につけつつ、成長してほしいと思います。

しかし、これらの項目を身に着けることができているかと振り返ると、実際には、そのように歩めていない自分の姿に気付かされるのです。大切だと思っても、難しかったりできないことがあります。聖書にはこの7項目を身に着けるためのポイントが書かれています。

「これらすべてに加えて、愛を身に着けなさい。愛はすべてを完成させるきずなです。」

コロサイ3：14

神様が愛して下さったように隣人を愛そうとすると、自然とこの7つの項目を実践することになります。難しく「慈愛」をどう行うかと考えるよりも、自分の隣にいる人のことを思い、行動しているうちに「慈愛」に満ちた行動になっていたり、その中に「寛容」が現れたりするのです。だから、愛は全てを「完成させるきずな」なのです。

コロナ禍の大変な中であっても、神様からの愛を受け取り、その愛を持って、周りの人を愛していきたいと思います。そうした愛の内に関わり合う保育園として、子どもも、大人も一緒に歩んでいきたいと思います。今月もよろしくお願いいたします。

石川三育保育園 園長 松下晃大

